

## 第2講 学習者のニーズ

### 【学修到達目標】

- 学習者のニーズについて理解することができる。
- ニーズと学習目標について説明することができる。

# 1. 学習者のニーズ

## 学習者のニーズ分析とは

- 効果的な教育・研修プログラム設計に不可欠
- 学習者一人ひとりに最適な学びを提供
- 対象者の特性を理解し具体的なニーズを把握

- 年齢層によるニーズの違い
- 学習環境と教育レベルの把握
- 教材開発への応用
  - 内容設計
  - 形式選択
  - 難易度調整
  - 個別対応



# 1. 学習者のニーズ

## 学習スタイルとは

- 代表的な学習スタイル  
視覚的、聴覚的、体験的
- バランスの取れたアプローチ
- 学習者の自己理解をサポート



# 1. 学習者のニーズ

学習ニーズを的確に捉え、教材開発に活かす

## アンケート

- 短時間で効率的に情報を収集
- 学習者の希望や学習経験を具体的に質問
- 自由記述式質問で、個々のニーズを深く理解
- オンラインツールで手軽に実施・迅速集計

## データ分析に基づいた教材開発

- 視覚教材ニーズ
- 苦手分野への対応
- 学習者の状態やニーズに応じた教材設計
- 学習効果の最大化

## インタビュー

# 1. 学習者のニーズ

学習ニーズを的確に捉え、教材開発に活かす

## アンケート

- 短時間で効率的に情報を収集
- 学習者の希望や学習経験を具体的に質問
- 自由記述式質問で、個々のニーズを深く理解
- オンラインツールで手軽に実施・迅速集計

## データ分析に基づいた教材開発

- 視覚教材ニーズ
- 苦手分野への対応
- 学習者の状態やニーズに応じた教材設計
- 学習効果の最大化

# 1. 学習者のニーズ

## 誤答データ蓄積と教材開発への活用（1970年代の実践から）

※〈資料番号〉 M3060166

\*\*\*\*\*  
〈内容〉

[ ]の中にあてはまる数をかきなさい。

$$\frac{2}{3} \div \frac{2}{5} = \frac{[ ]}{[ ]} \times \frac{[ ]}{[ ]} = \frac{[ ]}{[ ]}$$

\*\*\*\*\*

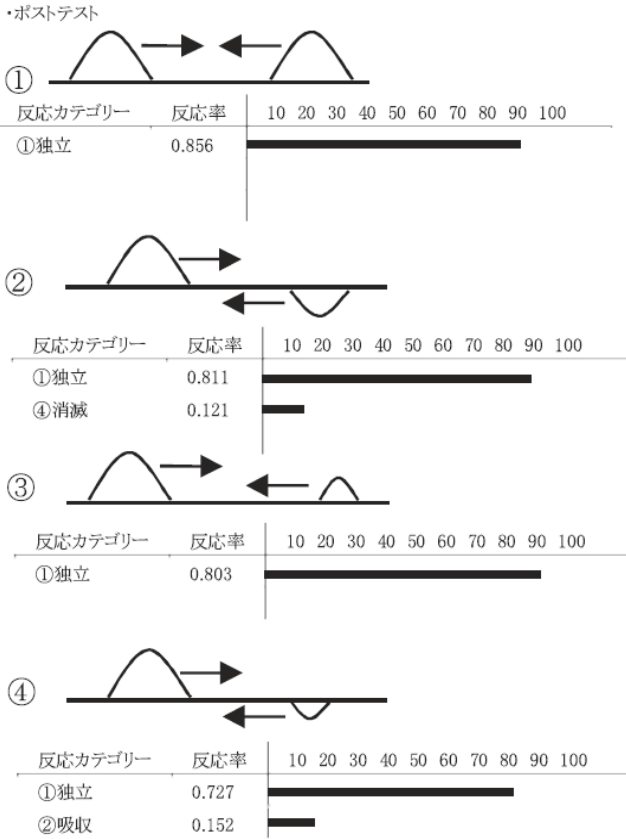
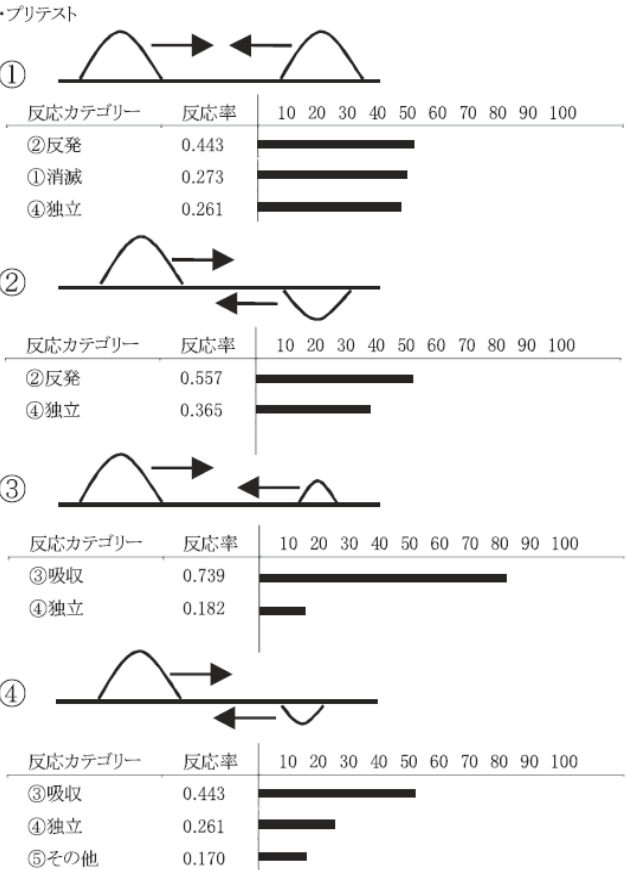
〈教科〉 小学校算数  
〈主学習目標〉 わり算をかけ算になおす事が出来る。  
〈関連学習目標〉 逆数がわかる

分数÷分数の計算が出来る。

|       |               |    |      |              |
|-------|---------------|----|------|--------------|
| 〈索引語〉 | 数と計算          | 分数 | 除法   | 逆数           |
| 〈難易度〉 | 小学校6年(中程度、普通) |    |      |              |
| 〈反応〉  | カテゴリ          | 0  | 0.7  | % 無答         |
|       | カテゴリ          | 0  | 80.7 | % 正答         |
|       | カテゴリ          | 0  | 10.7 | % 約分不足の正答    |
|       | カテゴリ          | 0  | 0.0  | % 通分での誤答     |
|       | カテゴリ          | 0  | 6.9  | % 計算規則での誤答   |
|       | カテゴリ          | 0  | 0.7  | % 単純な計算での誤答  |
|       | カテゴリ          | 0  | 0.0  | % 分数化の誤答     |
|       | カテゴリ          | 0  | 0.0  | % 立式による誤答    |
|       | カテゴリ          | 0  | 0.0  | % 分数概念における誤答 |
|       | カテゴリ          | 0  | 0.0  | % その他        |

エントロピー 0.968

細長いつるまきばねを水平に張り、ばねの一端をもって、一回上下に振動させるとパルス波が生じる。次の状態のときの二つのパルス波が、衝突したらどうなるかの問題



## 2. 学習環境

### 学習環境に応じた教材デザイン

- 教室での対面学習  
学習者が物理的に集まり、教師との直接的な対話やグループ活動が可能
- オンラインでの学習  
時間や場所に制約されず、個々のペースで学習可能。多様なデジタルツールを活用
- ハイブリッド形式の学習（対面＋オンライン）  
対面学習の直接性とオンライン学習の柔軟性を組み合わせ

## 2. 学習環境

### 学習プラットフォームの活用

- 学習進捗の可視化
- 迅速なフィードバック
- コミュニケーション促進
- 自動採点とデータ分析
- 教材の一元管理と提供





### 3. ニーズと学習目標

学習者のニーズを具体的な学習目標に結びつける

- ニーズの把握
  - 学習者の背景、目標は多様
  - 情報収集が不可欠
  - 必要なスキル・知識
- 具体的な学習目標の設定
  - 明確
  - 測定可能
  - 達成度

# 3. ニーズと学習目標

## 学習計画とモチベーション

- 学習者の特性と進捗に応じた柔軟な学習計画  
学習者特性  
進捗状況
- 達成感を積み重ねる  
適切な難易度  
段階的な目標設定（スモールステップ）

### 3. ニーズと学習目標

より良い教育環境の構築に向けて

- 教師の負担増大  
テクノロジーの導入
- コミュニケーション不足  
グループワーク・共同学習

## 第2講 学習者のニーズ

### 課 題

1. 学習者のニーズについて整理しなさい。
2. ニーズと学習目標についてまとめなさい。